

事務事業評価調査書 (平成 25 年度)

No.	4		作成日	平成25年9月27日		
総合計画	章	1	住みよいまちづくり	年 度	平成 24 年度事業	
	項	1	健やかに暮らせるまちづくり	課等名及びグループ名	福祉課 高齢介護グループ	
	節	2	高齢者がいきいきと暮らせる環境づくり	記入者 職氏名	課長補佐 齋藤 弘美	

【事務事業の概要】

I 事務事業の内容

実施方法	直営 <input checked="" type="checkbox"/>	一部委託 <input type="checkbox"/>	全部委託 <input type="checkbox"/>	補助等 <input type="checkbox"/>
------	---	----------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

事務事業名		敬老祝事業
事業概要	対象	町内に居住する75歳以上の高齢者
	目的	敬老祝の金品を贈り、長寿を祝福するとともに、町民の敬老思想を高め高齢者福祉の増進
	実施内容	平成23年度から祝品の該当年齢を77歳から75歳とし、祝品も大子町商店会の商品券2,000円分とし、88歳(米寿)祝金も商店会の商品券10,000円とした。100歳到達者は現金50,000円、100歳を超えた方は現金30,000円を贈呈する。

II 予算区分及び過疎計画における区分

予算区分	会計名	一般会計		過疎計画	施策区分	
	款	3	民生費		事業名 (施策名)	
	項	1	社会福祉費			
	目	2	高齢者福祉対策費			
	事業名	敬老祝事業			根拠法令	

【事務事業の実施状況】

※平成23年度から制度内容変更

III 事業費の推移及び終期

年 度	事業費 (決算・予算)	財源内訳 (単位:千円)				
		国支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
平成 21 年度実績	5,972					5,972
平成 22 年度実績	6,236					6,236
平成 23 年度実績	12,301					12,301
平成 24 年度実績	12,070					12,070
平成 25 年度当初	13,464					13,464

特定財源の種類	国支出金		県支出金		その他	
	名称	補助率	名称	補助率	名称	補助率

IV 執行状況

執行 状況	推進中	完了	新規
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

状況説明	75歳以上の対象者に対しては、各区長に配布をお願いしている。88歳・100歳以上の対象者は職員等にて直接配布している。特に88歳・100歳以上者の対象者は非常に楽しみにしており、生きる糧にもなっている。
------	---

V 問題点の概要

問題点	該当者が増加する傾向にある。対象年齢(75歳)を引き上げも含めた実施内容の検討も必要であると思われる。
-----	---

VI 成果指標

成果指標名	単位	24年度		25年度		26年度		27年度		対26年度 目標達成 率
		実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	
米寿該当者数(88歳)	人	178	200	—	210	—	210	—	210	84.8%
指標に表われない効果	高齢者の福祉増進を目的としており、前述のとおり精神的糧の役割を担っている。									

【事務事業の評価】

◎一次評価(担当課においての評価)

I 評価基準ごとの評価

	評価基準	評価	評価理由
目的 妥当性	○目的が総合計画や国の計画の政策体系に結びついているか？ ○対象・意図を見直す余地はあるか？ ○町が実施又は関与すべき目的であるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 妥当でない	敬老思想の増進含め、高齢者福祉の対策として、祝い金等の具体的対応は当然必要である。
有効性	○成果向上の余地があるか？ ○同じ目的を持つ他の事務事業があるか？ ○目標が達成されたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 有効でない	75歳以上の対象者が、祝い品を町から贈呈されることは認知されている。
効率性	○成果を低下させずにコストを削減することは可能か？ ○コストを圧迫している、又は増大させている要因はあるか？ ○他の事務事業との統合は可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 効率的でない	委託料(商工会)については、24年度に協議し引き下げをおこなった。
公平性	○サービスの受益者が一部に偏っていないか？ ○負担者(納税者)の理解は得られているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 公平である <input type="checkbox"/> どちらともいえない <input type="checkbox"/> 公平でない	高齢者福祉対策の一環として制度は認知されている。

II 総合評価

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【総合評価】※理由, 具体策及び今後の課題等を記入してください。 現在行われている事業は制度内容変更後3年目であり, 高齢者の認知がされた状況といえる。当面は, 現行どおり継続として, 今後は対象年齢の引き上げ等検討する必要がある。</p>										
<p>【担当所属長意見】 平成23年度に制度内容が変わったこともあり, 当面は現行どおり継続すべきであるが, 今後財政負担を考えると当該者の見直しなどの検討が必要である。</p>										

◎二次評価(事務事業評価委員会による評価)

今後の方向性	2	継続(現行どおり)								
<p>※今後の方向性について、次の項目から選択してください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 継続(事業規模を拡充する)</td> <td style="width: 50%;">5 他事業と統合する</td> </tr> <tr> <td>2 継続(現行どおり)</td> <td>6 休止, 廃止</td> </tr> <tr> <td>3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)</td> <td>7 終了</td> </tr> <tr> <td>4 見直し(実施規模を縮小する)</td> <td></td> </tr> </table>			1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する	2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止	3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了	4 見直し(実施規模を縮小する)	
1 継続(事業規模を拡充する)	5 他事業と統合する									
2 継続(現行どおり)	6 休止, 廃止									
3 継続(実施方法, 実施主体等を変更する)	7 終了									
4 見直し(実施規模を縮小する)										
<p>【具体的内容】 今後, 対象者が増加することが予想されることから, 対象者の範囲見直しも視野に入れ検討すること。</p>										
<p>【備考】</p>										